

進路新聞

大江高校
進路指導部
発行

いざ、勝負の時

就職試験 16日から開始

「九月十六日」。この日を四月当初から意識していた三年次生もいたと思います。いよいよ、その日がやってきました。高卒の就職試験が十六日から開始され、大江高校では九名がそれに臨んでいます。

就職希望者にとって納得のいく結果が出ることを祈りながら、様子を報告します。

これまでの道のり

「教員になる試験の前日、たまたまテレビで見た内容が、当日の試験に出た。皆さんも、最後まであきらめることなくあがいてほしい」と話すのは第三学年部長の吉岡先生。九月十三日(火)に行われた就職激励会にて就職希望者は、校長先生や吉岡先生から激励の言葉を受け取りました。

就職関係のスケジュールは、求人票受付開始日の七月一日から急速に動き出しました。四者面談の場で気になる企業を選び、その後、気になった企業の様



写真上…就職激励会にて、松田校長が激励の言葉を送っている様子。
写真下…胸の中で「エイ・エイ・オー！」と唱え、全員で気合を入れていく様子。腰に当てた左手とピンと伸びた背筋が様になっていました。

子を実際に見るために企業見学を行い、履歴書を完成させました。二年次生の時からすでに就職講習を受講し、準備を進めていた人もいました。各個人が多量の先生方や保護者等の方と、スクラムを組みながら準備を進め、当日を迎えたことでしょう。

進路新聞の発行日にはすでに受験結果が出て、嬉しい気持ちでいっぱいの人もいるでしょう。一方で、悔しい思いをしている人もいるかもしれません。全員で組んだスクラムは、最後まで崩さないようにしてください。

就職試験(面接)でよく出題される質問

就職試験には、必ず面接試験があります。そこでは、受験者がこれまで取り組んできたことや人柄を知るために様々な内容の質問がなされます。

1、2年次生のみなさん、下記の質問にどう答えますか。就職希望者に限らず、これらの質問に自分の言葉で答えられるような学校生活を送ってください。

- ・学校生活で一番頑張ったことは何ですか？
- ・社会人と学生の違いは何ですか？
- ・なぜ進学ではなく、就職を選んだのですか？
- ・あなたの長所を述べながら、自己PRをしてください。 他にも知りたい人は進路まで！

「雀の涙」なるほど！ 進学の言葉

「指定校推薦」

推薦入試制度の一つ。進学先の学校が指定する高校に示す条件に合う生徒が、校長の推薦を受けて出願する入試制度。進学先からの推薦は年度ごとに変換することがある。合格の場合、入学の辞退はできない(=専願)。

「クラウチ(腰を落とせ)、バインド(つかめ)、セット(組み合わせ)」。これは、ラグビーでスクラムを組む時に審判が掛ける言葉です。スクラムは八人で組み合い相手を押し合うプレーで、ラグビーの見どころの一つです。スクラムは個人が全力で押せば勝つことができると思いがちですが、どうも違うといえます。最前線の選手は後ろの選手のパワーが相手に伝わるような体勢を作りながら押す必要があります、八人全員が力の一つとなるようなスクラムが理想的である、と調べてみて分かりました。つまり、自分だけでなく全体のことも考えないと良いスクラムは作れないのです。

就職と進学は進路の方向が違うだけ。今後も一つになったスクラムで押し続けよう！
クラウチ、バインド、セット！